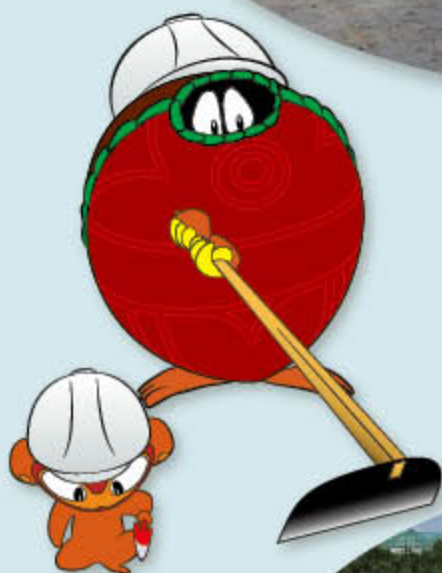




公益財団法人
埼玉県埋蔵文化財調査事業団

事業案内



沿革と組織

埼玉県埋蔵文化財調査事業団は、県内における埋蔵文化財の調査研究を行うとともに、埋蔵文化財の保護思想の啓発と普及を図り、もって本県文化の向上に寄与することを目的として昭和55年埼玉県の出資により設立されました。

埋蔵文化財の調査研究に基づいた発掘調査と整理・報告書の刊行事業、その成果の活用と普及活動など様々な事業を行っています。

沿革

- 昭和55年4月 埼玉県の出資により財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団設立。本部事務所を県パンビル(旧浦和市)内に置く。
- 昭和57年4月 本部事務所を大宮市櫛引町(現さいたま市)に移転。
- 平成元年10月 本部事務所を大里郡大里村(現熊谷市)に移転。
- 平成2年4月 埼玉県立埋蔵文化財センター設立に伴い、事務所の所在地を同センター内に移転。
- 平成3年8月 大宮整理事務所を設置。(平成12年3月まで)
- 平成9年7月 第二収蔵庫が完成。
- 平成24年4月 公益財団法人に移行。

組織

総務部	総務課 企画課	評議会	評議員 5名
調査部	調査第一課(発掘調査) 調査第二課(発掘調査)	理事会	理事 9名 監事 2名
資料活用部	整理課(整理報告書刊行) 資料保存課(資料保存・普及活用) 資料活用課(資料整理・普及活用)		

発掘調査件数・報告書刊行数 (2014~2023年度)

発掘調査	83件
発掘調査報告書	71冊



事業団マスコット
「はーとん」「のっそりー」

事業の概要

土の中に眠る貴重な遺跡を開発の前に発掘調査を行い、図面や写真などの記録をまとめた報告書として保存しています。また、その成果を遺跡見学会や集客施設での展示会、そして学校への出前授業など、さまざまな形で活用しています。

発掘調査



遺跡の上の表土除去
↓
住居跡など遺構の確認
↓
遺構の調査
↓
記録(図面・写真)

整理・報告書刊行



水洗・注記
↓
接合・復元
↓
実測・トレース
↓
編集 ▶▶▶ 刊行

図面整理
↓
写真整理
↓
執筆

資料保存



金属製品	木製品
X線透過検査	洗浄
↓	↓
クリーニング	PEG含浸
↓	↓
合成樹脂含浸	真空凍結乾燥
↓	↓
接合・復元	接合・復元

資料活用・普及



遺跡見学会の開催
学校への出前授業
学習用キットの貸出し
展示会等の開催
各種研修の受入れ
収蔵施設の公開

発掘調査

開発の前に遺跡の正確な記録を保存するため、発掘調査を行います。



慎重に掘り下げます



写真を撮影し記録します



デジタル測量で住居跡や土器の位置を記録します



図面を作成します

整理・報告書刊行

発掘調査で発見されたさまざまな出土品と、記録された住居跡などの図面を整理し、報告書にまとめて刊行します。



細かな破片を接合します



土器の文様を墨で写しとります



遺物を実測して図にします



足りないところに石膏を入れて復元や補強をします



印刷用の図版を作成します

資料保存

発見された文化財のうち、そのままでは劣化してしまう木製品や金属製品は保存処理を行います。



金属製品のX線透過検査



金属製品のクリーニング



木製品の保存処理

資料活用・普及

埋蔵文化財の大切さや私たちの仕事を理解していただくため、見学会や展示会などを行っています。学校では、子供たちが実物にふれながら学ぶ授業を行っています。



遺跡見学会



学校への出前授業「古代から教室へのメッセージ」



集客施設での展示会



オープンカンパニーの実施

発掘調査の実績

事業団は、令和6年で設立45年目を迎えました。その間、発掘調査した遺跡の調査件数は1,033件、面積は561万㎡に及んでいます。発掘調査の成果は、地域の歴史を解明する貴重な資料となっています。ここではその一部を紹介します。

旧石器時代

最古の狩人たち 北坂遺跡（深谷市）平成27



出土した旧石器（約30,000年前）

縄文時代

後・晩期の大規模環状盛土遺構

長竹遺跡（加須市）平成22～平成26



一辺約12mの巨大住居跡

水辺の利用（低湿地遺跡）

小林八束1遺跡（久喜市）平成29～平成30



弥生時代

ムラオサの眠る丘

大木戸遺跡（さいたま市）平成20～平成21



墳丘が残る方形周溝墓（権力者の墓）



住居跡から出土した後期の赤彩土器（約1,800年前）

中期の大規模集落 平成19～
諏訪野遺跡（桶川市）平成20



古墳時代

水晶製の勾玉を作った遺跡

反町遺跡（東松山市）平成18 前原遺跡（桶川市）平成19



奈良・平安時代

「京」でも珍しい合子がなぜ？

東本庄遺跡（本庄市）令和3～令和4



緑釉陶器合子出土状況

中世

隠された大量の銭

新井堀の内遺跡（蓮田市）平成29



近世

日光道中（街道）の宿場町

栗橋宿関連遺跡群（久喜市）

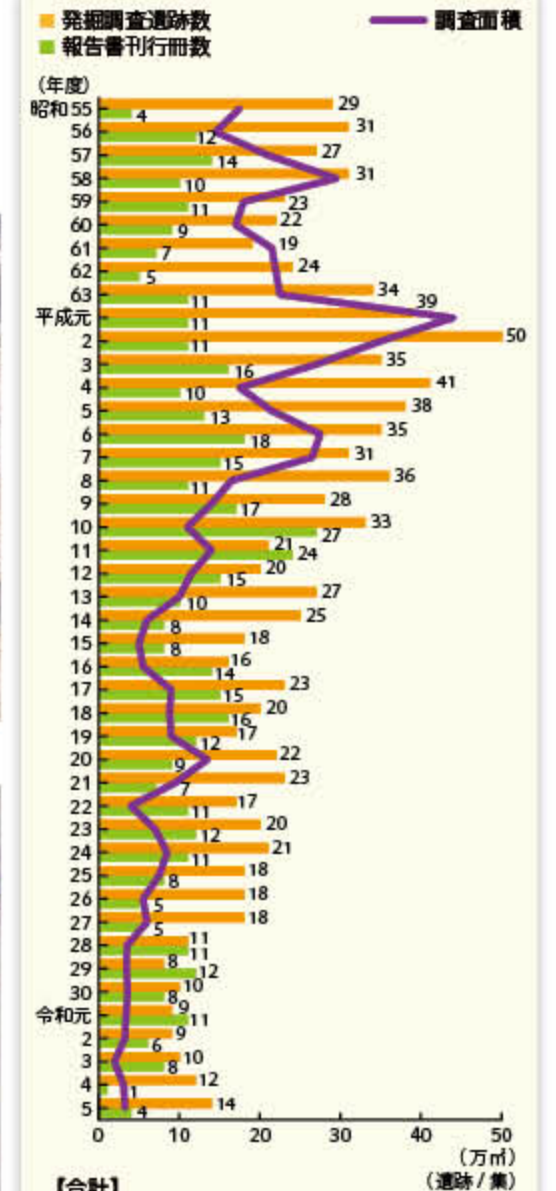
平成24～令和4



八坂神社 本殿・拝殿基礎

まつりが行なわれたムラ

北大竹遺跡（行田市）令和元～令和2



発見された遺物

事業団の発掘調査によって出土した遺物は40万点を超えています。ここにその一部を紹介します。これらは埼玉県文化財収蔵施設に保管され、県内外の博物館への貸出など活用されています。

 古瀬戸の瓶子(上里町大光寺裏遺跡)	 青磁の香炉(上里町大光寺裏遺跡)	 金の宝塔(美里町広木上宿遺跡)	 金銅の花瓶(東松山市反町遺跡)
 漆紙文書(上里町中郷遺跡)	 緑釉の輪花壇(上里町中郷遺跡)	 鉄製の口琴(羽生市屋敷裏遺跡)	 黒漆塗りの壺(熊谷市下田町遺跡)
 土偶(鴻巣市赤城遺跡)	 動物形土製品(蓮田市久古遺跡)	 ヒスイの玉(川口市石神貝塚)	 赤漆塗りの木製耳飾り(さいたま市大木戸遺跡)
 中期の深鉢(日高市宿東遺跡)	 前期の深鉢(伊奈町谷加遺跡)	 早期の尖底土器(深谷市宮林遺跡)	

未来	令和	平成	昭和	大正	明治	江戸時代	安土・桃山時代	室町時代	鎌倉時代	平安時代	奈良時代	飛鳥時代	古墳時代	弥生時代	縄文時代	旧石器時代
----	----	----	----	----	----	------	---------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------

明治維新

江戸幕府が開かれる
 応仁の乱がおこる
 室町幕府が開かれる
 鎌倉幕府が開かれる
 武蔵七党が活躍する
 平安京に都をうつす
 武蔵国分寺が建てられる
 平城京に都をうつす
 大化の改新が行われる
 武蔵国造の争いがおこる
 埼玉稲荷山古墳がつくられる
 前方後円墳が盛んにつくられる
 大和政権が成立する
 卑弥呼が中国に使者を送る
 弥生文化が関東に広がる
 稲作りがはじまる

日本列島に人が住みはじめる

 肥前系磁器皿(久喜市栗橋宿本陣跡)	 網島焼色鉢皿(久喜市栗橋宿本陣跡)			
 馬鏃(深谷市東川端遺跡)	 須恵器のはそう(鴻巣市新屋敷遺跡)	 馬形埴輪(熊谷市北島遺跡)	 木の道具と容器(行田市小敷田遺跡)	 子持勾玉(行田市北大竹遺跡)
 後期の壺(東松山市反町遺跡)	 後期の壺(さいたま市中里前原北遺跡)	 水晶製勾玉の製作(東松山市反町遺跡)	 緑色凝灰岩の玉づくり(東松山市反町遺跡)	
 県内最古級の石斧(寄居町末野遺跡)	 ヤリの先につけた石器(狭山市西久保遺跡)			

埼玉県文化財収蔵施設 施設案内

事業団は埼玉県文化財収蔵施設に
本部をおいています

はーとん

あかぞ
鴻巣市 赤城遺跡
でみつかった土偶
(土で作った人形)
がモデルです



事業団マスコット

のっそりー

きゅうだい
蓮田市 久台遺跡でみつかった
動物形土製品 (土で作った動物
の形) がモデルです



第二収蔵庫



収蔵庫(1F)

見学者を案内しています



収蔵庫(2F)

まいぶんフェスタ(県民の日)において
見学案内を行っています



整理室

報告書作成のための
整理作業を行っています

保存処理室

木製品と金属製品の保存
処理を行っています



新収蔵庫

展示や勾玉づくりなどの体験に
利用しています



研修室

研修や講座に利用しています



図書室

県内外の報告書が
揃っています



スタジオ

報告書に掲載する写真を
撮影しています



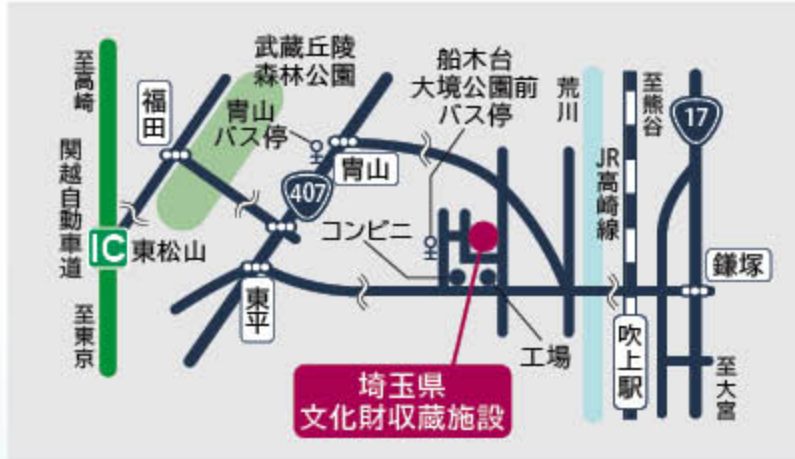
交通案内

JR 高崎線 熊谷駅北口 国際十王バス東松山駅行き「青山」下車、徒歩 25 分
南口 熊谷ゆうゆうバス ひまわり号「船木台大境公園前」下車、徒歩 5 分

東武東上線 東松山駅東口 国際十王バス熊谷駅行き「青山」下車、徒歩 25 分

JR 高崎線 吹上駅から車 10 分

関越自動車道 東松山 IC から車 20 分



公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台 4 丁目 4 番地 1

TEL : 0493 (39) 3955

FAX : 0493 (39) 3579

ホームページ : <https://www.saimaibun.or.jp>

